

鹿屋小 銀杏

読書の秋です！

【 Fall is the best season for reading. 】

校長 森田 勝二

ここ最近、県内での1日における新型コロナウィス感染者が一桁、あるいは0人という状況に落ち着いてきました。長引くコロナ禍の影響で、観光業や輸送業が打撃を受ける中、事業主の皆さんは少しでも利用客を増やすために諸々の工夫を講じています。1日も早い収束を願うばかりですが、「いずれ第6波が…」といったニュースがちらほらと聞かれるところです。

逆に、このコロナ禍の中でも業績を伸ばしている業界があります。その一つがゲーム業界です。コロナ禍以前の売上高も年々伸びていたのですが、任天堂など、メーカー大手はコロナ禍の影響でさらに売り上げが高まっています。このことから、ゲーム機やスマホなどを使ったゲームを行っている子供が着実に増えていることや長時間使用につながっていることが推察できます。

そのような中、「ゲームも良いが読書もね。」ということで、朝夕徐々に涼しくなってきました「読書の秋」です。

『折々の 遊びとまは ある人の

いとまなしとて 書読まぬかな』 本居 宣長

(遊ぶ時間がある人も

時間がないと言って、本を読まないものだ。)

子供たちの回りには、テレビやゲーム機器などがあり、パソコンで簡単に情報を収集できるので、読書離れが指摘されています。しかし、物語をじっくり読む、伝記により人生を知る、辞典で詳しく調べるといったことは、子供たちに必要なことであり、続けていく中で楽しさを感じていくものです。

鹿屋小学校では、来週18日(月)から11月12日(金)までを「校内読書月間」と位置づけています。職員による読み聞かせを行ったり、図書委員会の子供たちが読書に関するクイズを出したりします。また、PTA読書指導部や読み聞かせグループ「すてっぴ」の皆さんによる読書活動も行われます。

お父さんやお母さん、子供たちが借りてきた本を手にとってみてください。「我が子がどんな本を読んでいるのか」話題にするだけで、コミュニケーションは広がるし、子供たちの意欲も高まります。



本を借りるために並ぶ子どもたち

第75回 秋季大運動会

10月3日(日)に晴れ渡る大空の下、秋季大運動会が無事終了しました。今年度も午前中開催となりました。

子どもたちは、様々な制約がある中でしたが、「全員主役 汗と感動の 体育服～全力つくせ 鹿屋っ子」をスローガンに、精一杯準備し、練習で付けた力を存分に発揮していました。

まだまだ暑い時期からの練習で大変だったこともありましたが、子どもたちは大きく成長しました。走ったり、跳ったりする体力はもちろんのこと、友達とあわせてきれいにならんだり、声をかけ合ってリレーの練習をしたりするチームワークも高めることができました。また、赤組の 団長・白組の 団長を中心にした応援団、5・6年生の係が、下級生をうまくリードする姿は、とても頼もしいものでした。

まだまだ「with コロナ」でやっていくことが求められる生活ですが、子どもたちは力強く前に進んでいることを改めて感じる運動会となりました。



映えスポット おやじの会「緑門」

今年もおやじの会の皆さんが運動会に向けて緑門を作ってくださいました。この緑門は、全てがおやじネットワークの中で完成しています。看板や門柱は、材料からそろえて作ってあります。杉の葉だっておやじの会 OBのところから調達、葉を付ける高所作業車、片付けをする軽トラも何台集まったことか…。作業をすれば、和気あいあいとした雰囲気の中に真剣な顔で匠の技を繰り出していました。

できあがった緑門の見事さに、開会式前にはほとんどの学級が緑門前で記念撮影をしました。



緑門だけでなく、体育館横の駐車場も整備していただきました。「段差と水たまりを無くす。」黙々と作業を進めていただきました。



大変お忙しい中に御協力をいただきありがとうございました。

PTA バザー 中止

10月5日(火)のPTA運営委員会において、本年度のPTAバザーを中止することが決定しました。1学期から「子どもたちが楽しめるバザー」「会員相互の交流が図ることができるバザー」目指して新企画の提案もあり、準備を進めてきました。しかし、安全を十分に担保できないと判断し、やむなく中止を決定いたしました。

今年度した準備については、来年度へ確実に引き継ぐこと、今後のPTA行事の計画について改めて検討していくことを確認しております。ご理解いただき、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

【お願い】

児童の送迎のために北門横『肝属教育会館』(私有地)への無断駐車は絶対にしないでください。私有地への無断駐車は、法律違反です。マナーをお守りください。

入賞おめでとう

【サクラクレパス図画コンクール】

優秀賞	⑤	
入賞	⑥	
	①	①

【鹿屋市人権ポスターコンクール】

入選	⑥	
----	---	--

【鹿屋市理科作品展】

特選	①	②
	⑤	⑤
	⑥	

【肝属地区社会科作品コンクール】

優秀賞	⑥	
佳作	⑥	⑥
	⑥	

特別支援教育コーナー

『正しい発音を育てるために』

発音するという運動は、思っている以上にスピーディで、巧みで、協調性に富んだ運動です。ですから、発音を正しく覚えるのは、そんなに簡単なことではないし、自然なことでもないと言えます。また、運動と考えれば意識してトレーニングすることで正しく身につけることができるということも言えます。

【発音は、学び直せる！】

発音の覚え間違いが起こる原因は、はっきりとは分からないのですが、発音が育つのに必要なものと、それがどのように関係し合っているのかということは分かっています。ですから、発音をどのように間違えているのか分かると、その学び直し方を考えることができます。

【発音を育てるには、心と耳と口をバランスが大切！】

<心>

楽しい会話体験→「上手に聞きたい」「上手に話したい」心の育ち

子どもの話に耳を傾け、子どもの気持ちに応じて話しかけることが大切！

- ・ 聞いているつもり、話しているつもりになっていないか、時には振り返ってみましょう。
- ・ ことばの教室のお話タイムでは、「給食でおいしかったのは何？」「昼休みは何をして遊んでいるの？」など、子どもが具体的に答えやすいことを話しかけて、会話のきっかけにしています。

<耳>

音を聞く力・聞き分ける力→正しい発音

発音が育つのも、直すのも耳の働きが深く関係！

- ・ ドライブの車内で「しりとり」「なぞなぞ」など、ことば遊びで楽しく耳を育てることもできます。
- ・ ことばの教室では、絵カードを見ながら「さかな」と「たかな」と聞いて当てっこをするなど、ゲーム的な活動を工夫しています。

<口>

息、声帯、舌、唇、下あごなどの口を構成している器官の協応運動→正しい発音

- ・ 口の育ちは、まず食事！正しい発音で滑らかに話すための筋肉と動きが育つ！
- ・ ことばの教室では、口・舌の体操、じゃんけんあっちむいてほい、おもちゃを使った遊びなどを通してトレーニングをしています。

【安心して学び直せる環境を整える！】

「違うでしょ。もう一度言ってみて。」「そうじゃない。さ・か・な でしょ。」「分からない。ちゃんと言って。」「正しく言えないで困っている子どもに、正しく言えと責めるのでは寂しいかぎりです。安心できる環境とは、今は、その発音でいいから、恥ずかしがらずにどんどんしゃべればいいと、心を支える環境です。そして、学び直しが進む中で、「上手になったね。」と、子どもの努力を認める環境です。

【さりげなく正解を示す！】

発音の間違いや文字の誤りは、さりげなく正解を示すことも、子どもの学び直しを助けます。

- ・ 子ども「たかなが泳いでいる。」→「さかなが泳いでいるね。」と、自然に会話を交わす。
- ・ 発音通りに文字を書いたら→「さかなの『さ』は、こうだよ。」と、『さ』を書いて見せる。

参考資料：鳥取市立久松小学校言語通級指導教室便り

10月・11月・12月 学校行事予定

【10月】

- 3日(日) 秋季大運動会
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 教育実習(～9日)
鹿屋市教育委員会計画訪問
- 9日(土) 避難訓練
- 18日(月) 読書月間(～11月13日)
- 25日(月) 小中合同研修会
- 27日(水) 市陸上記録会(5・6年生弁当持参)



【11月】

- 1日(月) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間
キャリア教育講演会(4～6年)
- 2日(火) 第2回学校運営協議会
おもちゃまつり(2年生)
- 3日(水) 文化の日
- ~~6日(土) PTAバザー~~ → 中止
- 10日(水) 6年生修学旅行(～11日)
- 13日(土) 芸術鑑賞会
緊急時引き渡し訓練

- 17日(水) 5年生集団宿泊学習(～18日)
- 19日(金) 一日遠足(1～4年生)
- 20日(土) 家庭生活ふりかえろう週間(～26日)
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 29日(月) 持久走大会試走
- 30日(火) 学級PTA(1～6年生)

【12月】

- 6日(月) 学期末特別校時(月～木 20分早く下校)
- 11日(土) 校内持久走大会(1～6年生)
- 24日(金) 2学期終業式
- 25日(土) 冬休み(～1/10)

